

令和6年経済建設常任委員会概要記録

(会期中)

— 第1号 —

○会議日時 令和6年3月5日(火) 午前9時30分～午後4時27分

○場所 議会特別会議室

委員の出欠状況(出席=○ 欠席=×)					
職	出欠	氏 名	職	出欠	氏 名
委員長	○	貝 木 幸 男	副委員長	○	金 子 康 法
委 員	○	石 川 浩	委 員	○	五 戸 豊 弘
委 員	○	石 田 陽 一	委 員	○	小谷野 晴夫
			出席 6人 欠席 0人		

説明のために出席した者			
職	氏 名	職	氏 名
産業振興部長	栃 本 邦 憲	建設水道部長	保 沢 明
農 政 課 長	伊 澤 仁 一	商工観光課長	関 孝 夫
農業委員会事務局長	坂 田 一 也	建 設 課 長	倉 持 吉 男
都市計画課長	川 俣 貴 史	区画整理課長	古 橋 栄 一
水 道 課 長	神 戸 良 和	下 水 道 課 長	近 藤 善 美

事務局			
職	氏 名	職	氏 名
議会事務局長	五 月 女 治	議 事 課 長	篠 崎 正 代

○議員傍聴者 鈴木一司議員、加藤好雄議員、石川信夫議員

○一般傍聴者 なし

1. 開 会

2. あいさつ 貝木幸男 委員長

3. 概要録署名委員 小谷野晴夫 委員

4. 事件

(1) 付託事件審査について

補足説明 なし

現地調査 ・スマート I C 整備事業
・石橋駅西口ペDESTリアンデッキ修繕設計
・三王山ふれあい公園管理事業
・道の駅しもつけ内EV充電器設置箇所
・市道 2-29 号線整備事業

議案第 2 号 令和 5 年度下野市一般会計補正予算（第 8 号）【所管関係部分】

《質疑・意見》

[歳入]

16 款 2 項 4 目 商工費国庫補助金

○小谷野委員：クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金について、減額の要因を伺う。

●商工観光課長：この補助金は、充電器施設を設置する地方公共団体や法人が交付対象者である。設置後の維持管理を効率的に進めていくことを目的に、「株式会社道の駅しもつけ」を設置主体として整備を行った。補助金の交付先が「株式会社道の駅しもつけ」になったことによる減額である。

[歳出]

6 款 1 項 3 目 農業振興費

○石田委員：担い手確保・経営強化支援事業の補正内容を伺う。

●農政課長：農地の集約化を図り、農協から融資を受け機械等を整備する農業者に対する補助である。昨年11月の要望調査の結果、3名の応募があり1名が採択となった。事業費1,342万円の補助率2分の1に対する予算確保のための補正である。

○小谷野委員：担い手を増やしていこうと考えている中で、担い手総合対策支援事業が大きく減額される要因を伺う。

●農政課長：新規就農総合支援事業は、就農後に経営が不安定な時期に所得を確保するために交付金を支払うが、採択要件が年度ごとに異なる。令和2年度に

採択された2名が対象となるが、所得に応じて交付金が決まる。就農して4年目を迎え、ある程度の所得があると判断し、当初より約81万5千円を減額している。2点目は、昨年、窓口において補助金について新規就農者からの相談が3件あった。この3件について、1件あたり150万円を見込み450万円を計上したが、実際には活用には至らなかった。3点目は、機械の支援を行う経営発展支援事業について、上限1千万円、国・県が4分の3を補助する事業であり、昨年2名から相談を受けて1,500万円を計上していたが、実際には1名しか活用に至らなかった。このことから新規就農総合支援事業について、1,448万6千円の減額となった。土地利用型園芸産地展開加速化事業については、県単独事業である。水田における露地野菜等の生産振興を図るための事業である。2年間のうちにソフト・ハード面の支援を行う。3団体が手を挙げ、ハード面の施設整備とソフト面の種・肥料の支援を希望されたが、実際には物価高騰の影響から集出荷施設を取りやめた団体があった。また、別の補助金を活用した団体があったことや、種・肥料等の金額が当初より減ったことが理由である。

○小谷野委員：新規就農者育成総合対策事業の補助については、所得があるため交付金が減額されたということか。

●農政課長：所得要件において、所得が100万円以下の場合は150万円が交付される。100万円以上350万円未満の場合には、350万円から前年度所得を控除した金額に5分の3を乗じた額となり、350万円以上は補助金が交付されない。このため、一定の所得があり減額されたということである。

○五戸委員：所得350万円は一般の農家と比較した場合、どれほどなのか。

●農政課長：新規就農の場合、青年等就農計画を作成し、5年後に200万円の所得と考えてもらう。350万円はそれなりの収入と考えている。

○五戸委員：5年後に200万円という話だが、物価高騰など社会情勢の変化により200万円以下となった場合の支援はあるのか。

●農政課長：5年間で打ち切りになるが、市でも単独予算による支援を用意している。それらを施設や機械整備に活用してもらえればと考えている。

7款1項2目 商工業振興費

○石川浩委員：しもつけ産業団地整備推進事業について、雨水排水施設整備が大きく減額される要因を伺う。

●商工観光課長：雨水排水施設整備は令和5年度に完了となる。山林や農地もあったため、当初は工事に係る搬入搬出路の仮設工事を予定していた。しかし、不整地車両の使用や工法が変更されたこと。また、既存の調整池等の工事の施工内容の変更もあり減額となった。

○石川浩委員：繰越明許費7,500万円の内容を伺う。

●商工観光課長：雨水管整備に付随する工事であるが、進入路が確保できない箇

所について、隣接地を借地していた。工事が終わり借地を整地するための繰越工事である。

- 金子副委員長：しもつけ産業団地整備推進事業の雨水排水施設整備について、現在整備中にも関わらず減額となる要因を伺う。
- 商工観光課長：市の施工部分である雨水管整備を予算化しているが、令和5年度をもって完了となる。本体については、栃木県土地開発公社が令和6年の中頃を目途に完成を目指している。市の予算分については、完工により減額となる。
- 金子副委員長：当初の見積もり額が高すぎたということか。
- 商工観光課長：当初設計と施工の工法等に変更点があったことによる減額である。
- 石川浩委員：工場誘致奨励金について、当初予算から半額ほどの減額である。工場誘致に係る補助金が不要になったということだが、その中身を伺う。
- 商工観光課長：工場誘致奨励金は、設備投下等に対し3年間補助する内容である。当初は奨励金の指定申請による事業概要や事業計画をもとに予算化したが、実際の投下固定資産総額と創業時の実質投下固定資産分に関がかったことによる減額である。
- 石川浩委員：中小企業者等原油価格・物価高騰対策支援金の減額について、申請しなかった企業が一定数いたということか。
- 商工観光課長：当初予算では、法人個人合わせて1,015件を見込んだ。実際は法人425件、個人466件の計891件であり、88%の申請額であったため差額の減額補正である。

7款1項3目 観光費

- 小谷野委員：輝け下野エール大使について、何名に委嘱しているのか。コロナの影響によりイベントが少なかったこともあるが、活動内容が見えてこない。もう少し活動していただいたほうがいいと思うがどうか。
- 商工観光課長：現在、永井壘さん、元ロードレーサーの雨澤毅明さん、漫画家の一葵さやかさん、彫刻家の宇賀地洋子さん、プロ野球コーチの落合英二さん、ザ・たちさん、声優の下野紘さん、柔道家の高藤直寿さん、山中一馬さん、9組10名にお願いしている。減額補正について、落合英二さんの野球教室を予定していたが、ご本人の都合により中止となった。令和3年度に宇賀地洋子さんの展示会を開催した実績もあるため、調整しながらエール大使の振興に努めていきたい。
- 小谷野委員：イベントへの参加も大切だが、それだけで予算が嵩む。エール大使に対して、マスコミ等を通して下野市をアピールすることを要請することは可能か。

- 商工観光課長：エール大使は、市の振興・PRを担っている。日程等の調整が必要になるが、要請は引き続き行っていきたい。
- 五戸委員：観光施設管理事業が減額される要因を伺う。
- 商工観光課長：平美林会においては天平の丘公園の管理をお願いしているが、コロナの影響により活動ができなかったことによる減額であるが、光熱水費が主な減額内容である。

8款4項1目 都市計画総務費

- 小谷野委員：都市計画総務事務費委託料の減額理由を伺う。
- 都市計画課長：自治医大周辺の都市核形成や小金井駅や石橋駅周辺の事業化の検討を進めていくための委託料である。課内にまちづくり推進グループが創設されたこと、6月からは都市計画課に配属された県OBのアドバイスをいただきながら内部で検討してきた。昨年度には3駅周辺の地元の方へのアンケートや意見交換会を実施した。その中で、市としてどのような形がいいのか、青写真を出さないと議論が進まないとの意見をいただいた。市としてどうあるべきか検討するため、今回は見送り、来年度予算に計上させていただく。
- 小谷野委員：地元の方に納得してもらい、スピーディーに対応していただきたい。

8款2項1目 道路維持費

- 石田委員：午前中の現地調査において、石橋駅西口ペDESTリアンデッキを視察した。修理・改修のみに囚われず、解体して一から再整備する考え方も検討してほしい。
- 建設課長：長寿命化の中には、あった物をなくして維持費を削減する考え方もある。ご指摘の内容も一つの考えとして調査、設計を進めていきたい。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第5号 令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業
特別会計補正予算（第3号）

《質疑・意見》

なし

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第 6 号 令和 5 年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業
特別会計補正予算（第 3 号）

《質疑・意見》

[歳入]

4 款 1 項 1 目 不動産売払収入

- 小谷野委員：保留地はどれくらい残っているのか伺う。
- 区画整理課長：現在、令和 6 年の売却に向けて公売受付を開始した。今年は 3 件の売却を予定しており、残りは 10 件である。残りの保留地は大きいいため、分割する計画があった場合は件数が増える。
- 小谷野委員：以前、第一工区保留地の形状がよくないと説明があった。今も変わらないか。
- 区画整理課長：前回、保留地の形状が悪いとご指摘を受けた。近隣で土地を持つ地権者から建物の有効部分を増やすことを目的に、土地を譲ってもいいという話がある。
- 小谷野委員：保留地売却に向け努力していることは評価したい。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第 7 号 令和 5 年度下野市水道事業会計補正予算（第 3 号）

《質疑・意見》

[収益的支出]

1 款 1 項 1 目 原水及び浄水費

- 石川浩委員：動力費 2,960 万円マイナスの理由を伺う。
- 水道課長：原水及び浄水費の当初予算 7,392 万円について、令和 4 年 4 月から 10 月までの電気料金の 1.4 倍で積算した。令和 5 年 1 月から負担軽減策が始まり、約 3,000 万円の不用額が生じた。補正後の 4,432 万円に対し令和 6 年 2 月現在 3,700 万円と予算内に収まっている。配水及び給水費について、当初予算 7,224 万円、補正後の予算 4,424 万円に対し、令和 6 年 2 月現在の執行額は 3,620 万円程度である。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第 8 号 令和 5 年度下野市下水道事業会計補正予算（第 3 号）

《質疑・意見》

なし

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第 9 号 令和 6 年度一般会計予算

《質疑・意見》

[歳入]

2 款 3 項 1 目 森林環境贈与税

○五戸委員：どこに使う計画か伺う。

●農政課長：人材育成や木材利用促進など用途が決まっている。一部を産業祭の木工教室などに活用している。令和 4 年度末で 2,000 円ほどの積み立てがあり、県からは貯めるだけではなく使うようにとの話がある。今後、公共施設整備の際の木質化について活用を図っていきたい。

15 款 1 項 4 目 農業使用料

○石田委員：農村環境改善センター使用料が約 50 万円減額になっている。場所は下長田地区か。

●農政課長：下長田の改善センターである。下野うどん草庵について、週 5 日・22 日営業していたが、来年度から週 4 日にしたいと相談があり、その分の使用料の減額である。

○石田委員：減免もあり、やむを得ない部分もあると思うが、日数を減らして採算がとれるのか。

●農政課長：施設使用料について減免はない。条例に基づいた使用料をいただいている。週 4 日営業については先方からの要望があり、意向を汲んでの予算措置である。ただし、委員ご指摘のとおり、利活用について、活用していただくほうがよいことを先方に打診したい。

○石田委員：以前は水道ガスも減免していたと記憶しているが、今はないという認識でよいか。

●農政課長：電気代等はなく、部屋代として利用料をいただいている。

15 款 1 項 5 目 商工使用料

○金子副委員長：インフォメーションセンターホール使用料について説明願う。

●商工観光課長：小金井駅西口オアシスポップ館の多目的使用料である。自治会

の会議、絵画教室、フラワー教室など地域の行事で使用している。令和５年度は27,000円、令和４年度は12,300円の実績である。

○金子副委員長：市が管理しないといけないものか。具体的にどのような場所か伺う。

●商工観光課長：オアシスポップ館内の観光協会事務所と会議室が併設している。市としても、地域の方が使えるように条例を制定している。

○小谷野委員：商工使用料が昨年比で大きく減額されている要因を伺う。

●商工観光課長：主に天平の丘公園駐車場使用料である。令和６年３月以降も無料となることから減額となっている。

17款２項４目 農林水産業費県補助金

○石田委員：土地利用型園芸産地展開加速化事業費補助金について、昨年度比で減額の理由は対象者が少ないということか。

●農政課長：現在、３つの団体が補助の対象となるが、２団体は今年度をもって補助が終了する。残りの１団体についても、ソフト事業のみの補助であり、ハード事業がないため昨年度より減額されている。

17款２項６目 土木費県補助金

○五戸委員：民間住宅耐震改修助成事業費補助金について、何件見込んでいるか。

●都市計画課長：国庫補助と県補助がある。改修と建替えて７件見込んでいる。

18款２項１目 不動産売払収入

○小谷野委員：道路払下収入について、どこの箇所か説明願う。

●建設課長：場所は決まっていない。昨年、一昨年の実績をもとに計上している。

○小谷野委員：昨年はどこの箇所か。

●建設課長：のちほど回答する。

23款１項２目 農林水産業債

○小谷野委員：県営ほ場整備事業について、薬師寺地区と柴地区のほ場整備がメインなのか。

●農政課長：薬師寺地区、柴地区のほ場整備に係る起債である。

23款１項４目 土木債

○金子副委員長：市道大規模修繕事業２億900万円の内容を伺う。

●建設課長：全部で９か所に充当される予定である。緊急自然災害防止対策事業計画に記載の路線について、年次ごとに修繕していく。計画に記載していない

と充当ができない。

○貝木委員長：緊急自然災害防止とは、どのような想定か伺う。

●建設課長：国土強靱化推進計画における事業債であり、舗装修繕については国庫補助が付きにくい背景がある。舗装修繕事業については、起債で対応すべきという国の方針により始まった事業である。

○貝木委員長：名目を充てればどこでもよいのか。

●建設課長：主に幹線道路が対象となる。計画に路線を記載し、国に提出して事業を行う。

○貝木委員長：今回9箇所を見込んでいるが、今後増えるのか。

●建設課長：創設して間もない。有効に使って直していきたい。

[歳出]

6款1項3目 農業振興費

○石川浩委員：特産農産物支援事業について、地域ブランド支援事業から名称が変更されているが、中身はどのように変わったのか。

●農政課長：お見込みのとおり。「ブランド」は商工観光課関係と間違われやすい。農政課ではかんぴょうやイチゴに特化し推進しているため、市民評価の際にご指摘があり、より分かりやすい名称に変更した。

○石川浩委員：担い手総合対策支援事業の農地中間管理機構集積協力金事業と産地パワーアップ事業が削除された理由を伺う。

●農政課長：農地中間管理機構集積協力金事業は、農地バンクに土地を貸付した場合に地域の一定規模に応じて国から補助金が交付される。今年度は、上古山において地主が機構と契約を交わし、その面積に応じて協力金をいただいた。ほとんどの方が契約済みとなり、今後契約する場合は補正により対応する予定である。産地パワーアップ事業について、JA宇都宮において宇都宮地区のイチゴをブランド化して取り組んでいたが、次年度は新たな希望がなかったため削除している。

○金子副委員長：市は、イチゴよりかんぴょうに力を入れていくということか。

●農政課長：イチゴについても支援していきたいと考えているが、市の特産物と言うとかんぴょうである。議会において、かんぴょう条例を策定している経緯もあるため、しっかりと取り組んでいきたい。

○金子副委員長：他の自治体では、新しい特産物にも挑戦している。かんぴょう以外にも検討に加えていただきたい。

●農政課長：かんぴょうはしっかりと支援していきたい。委員ご指摘のように、かんぴょうに代わるブランドも探していかなければと考えている。JA等関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。

○石田委員：親元就農に対する支援がなかった。今後は市として、販路の拡大も

検討していただきたい。

- 農政課長：ご提案いただいたことについて、テーマとして取り上げ検討していきたい。

○小谷野委員：有害鳥獣被害防止対策事業について、市内の農作物への被害状況を伺う。

- 農政課長：下長田地区において鹿、花見が丘地区において猪が出没する話があった。箱罠を設置し、駆除隊に見回りをお願いしていたが、現在は足跡なども確認できなくなり被害が少なくなった。長田地区について、コストコ等の開発により新しい方が住み始めている。地元の農家民が危惧していないが、新たに住んでいる方にとっては、鹿が群れになっている姿を見て心配している。現在、東武鉄道の山林に括り罠を設置している。アライグマやハクビシンが目撃され罠にかかる場合があり、鹿1頭、アライグマ2頭を捕獲した実績がある。

○小谷野委員：ハクビシン等による南河内地区のイチゴ被害について聞いたことがある。現在の被害状況はどのようなか。

- 農政課長：希望があれば罠を貸与している。希望がないため被害は落ち着いていると考える。

○石田委員：基金積立金が増えている理由を伺う。

- 農政課長：森林環境贈与税を積立している。将来的には公共施設整備の木質化に活用したい。

○金子副委員長：土地利用型園芸産地展開加速化事業について、内容を伺う。

- 農政課長：水田における露地野菜の拡大を目指す構想に基づき、生産者に対して2年間支援する事業である。先ほど述べたとおり、来年度は1団体が対象となる。内訳としては、苗・資材・農薬肥料等の支援に316万円、ネギの管理機50万7千円に対する5分の2の補助金の合算である。

6款1項4目 畜産業費

○五戸委員：畜産肥料供給支援事業の内容を伺う。

- 農政課長：恒常的な肥料価格高騰による畜産経営悪化解消のため、肥料購入費用の一部を補助するものである。肥料の価格が高騰しているため、昨年度の実績に5割増しの予算を計上している。

6款1項5目 農地費

○貝木委員長：田んぼダムは何か所あるのか伺う。

- 農政課長：市内に27つの保全会がある。そのうちの石橋南部保全会において

- 100か所、仁良川の里保全会において47か所、計147か所の予算を計上している。
- 貝木委員長：台風19号の増水により箕輪地区も被害があった。田んぼダムは箕輪地区にはないのか。
 - 農政課長：田んぼダムは2か所のみである。箕輪地区では取り組んでいない。
 - 貝木委員長：ハザードマップでも浸水区域である。なぜ箕輪地区にはないのか。
 - 農政課長：取り組みは保全会が主体である。保全会にはお願いしているが費用面から取り組めていない状況である。きらら館周辺について、下方を進めても上方と連動しないといけないこともあり、そちらは土地改良区で行う話もある。
 - 貝木委員長：田んぼダムでどれくらい防げるか分からないが、できれば進めていただき、被害軽減に努めてもらいたい。

7款1項2目 商工業振興費

- 石田委員：共通商品券発行事業について、昨年度より減額されている理由を伺う。
- 商工観光課長：令和元年度はプレミア率10%の9千部を発行、令和2年度からは新型コロナ地方創生臨時交付金を活用し、プレミア率20%、1万8千部に増刷し実施していた。令和6年度以降は一般会計予算のみとなり、厳しい財政運営が見込まれ歳出削減の考え方が示された。削減にあたっては、従来の方法ではなく、購買意欲の促進、市内事業者支援、事業者を取り巻く状況を配慮したうえで、限られた予算を有効活用していきたい。また、効果的施策となるよう、近隣市町の動向を踏まえ、下野市共通商品券実行委員会において事業効果を検証し、実施方法を検討していきたい。
- 石田委員：両商工会とは協議しているのか。
- 商工観光課長：令和6年度予算については示していない。今後、実行委員会において内容説明し、よりよい方策を探していきたい。
- 石田委員：市の活性化のために両商工会が努力している。突然予算が半分になると商工会としても疑問が生じるため、事前に意見聴取や内諾が今後必要だと考える。枚数や金額の根拠を伺う。
- 商工観光課長：令和元年度の補助額が900万円。物価高騰による事業者が抱える問題を考慮した場合、いきなり令和元年度に戻すのはいかがかと疑問があり1,800万円を計上した。枚数としては20%で続けた場合は9千部、10%の場合は1万8千部になる。
- 石川浩委員：小山市ではQRコードを活用しているが、本市ではどうか。
- 商工観光課長：QRコードについて、情報収集している。小山市の場合、QRコードと紙媒体を半々で導入したようだが、QRコードを導入した場合、高齢者の利用が難しく売れ行きが芳しくなく、紙媒体への申し込み数が倍になっ

た話を聞いた。これらを含め、今後検討していきたい。

- 産業振興部長：交付金を活用した際の倍率、市民ニーズについて説明したい。20%にした場合、大変好評だったと聞いている。一方で、9千部発行した場合の倍率が2.5倍であったが、1万8千部発行した場合の倍率が実質1.0倍と希望するほとんどの方に行き渡った状況である。果たして、希望者全員に行き渡るべきか、ある程度の倍率のもと抽選があつて然るべきか。商工会からは、今後もプレミア率20%を継続して欲しい旨の要望書を受け取っている。今後、実行委員会が組織されるが、商工会からの要望もあるなかで、どのような方法が適当なのか、倍率含め検討していきたい。売れ残りについても問題がある。今年度実施した対策として、一度当選した方も再申込みを可能としたところ数時間で完売できた実績がある。希望する方は限られていることが判明した。両商工会においても理解している事なので、実行委員会のなかで詰めながら効果的な方法で実施していきたいと考えている。実施にあたっては、両商工会の力は多大であることから、両者の意見を尊重し進めていきたい。

- 小谷野委員：工場誘致奨励金が増えているが、しもつけ産業団地を含めた予算ということか。
- 商工観光課長：しもつけ産業団地は、今後整備されるため含まれていない。西坪山工業団地のデクセリアルズの設備投資が増えているためである。
- 小谷野委員：空き店舗活用事業奨励金、まちなか商店リフォーム事業についてそれぞれ何件を見込んでいるのか伺う。
- 商工観光課長：過年度実績をもとに計上している。空き店舗活用事業は6件、まちなか商店リフォーム事業は、空き店舗4件、既存店舗3件の計7件を見込んでいる。
- 小谷野委員：空き店舗活用事業奨励金について、自治医大駅周辺が多いのか。
- 商工観光課長：年度によりばらつきがある。昨年度は、石橋駅、小金井駅に各1件の計2件である。
- 小谷野委員：駅を降り周辺を見渡しても空き地や新しい駐車場がほとんどであり活気がない。特に小金井駅西口や石橋駅西口について、既存建物をリフォームすれば明るさを取り戻せると思う。もう少しアピールし、この予算では足りないと思うくらい努力して欲しい。

7款1項3目 観光費

- 石田委員：天平の丘公園の水遊び場はどこを検討しているのか。
- 商工観光課長：夜明け前東側にせせらぎがある。前には遊具もあり、夏場でも誘客を期待するということで、せせらぎ付近を検討している。
- 石田委員：すでに池はあるのか。

- 商工観光課長：池はないがせせらぎがある。大松山運動公園のようなじゃぶじゃぶ池のような水遊び場を検討している。民俗資料館の南側である。
- 小谷野委員：下野ブランド創生推進事業について、前年度からかなり減額されているが、どのようなブランドを推進していくのか伺う。
- 商工観光課長：特産品や文化財含め30品目ある。販路開拓や商品開発を目的に1件あたり30万円の補助金を交付している。最盛期には38件のブランドがあったが、販売中止等により8件の取り下げがあった。今後、新規ブランドの開拓について検討課題になってくる。何件かお問い合わせをいただいているため、検証しながらブランド認定を検討していきたい。
- 小谷野委員：市内の肉牛が品評会で金賞を受賞していると聞いている。J Aおやまが管轄しているため難しいかもしれないが、ブランド化すればふるさと納税の返礼品など、利用価値が増えていく。是非検討できないか。
- 商工観光課長：認定にあたっては精査が必要になる。下野市らしさを考慮しなくてはならないため、農政課と調整しながら進めていきたい。
- 小谷野委員：ブランド化できれば市の畜産としてアピールできる。部内で是非検討してもらいたい。

延 会

— 第2号 —

○会議日時 令和6年3月6日（水） 午前9時30分～午前11時39分

○場所 議会特別会議室

委員の出欠状況（出席＝○ 欠席＝×）					
職	出欠	氏 名	職	出欠	氏 名
委員長	○	貝 木 幸 男	副委員長	○	金 子 康 法
委 員	○	石 川 浩	委 員	○	五 戸 豊 弘
委 員	○	石 田 陽 一	委 員	○	小谷野 晴夫
			出席 6人 欠席 0人		

説明のために出席した者			
職	氏 名	職	氏 名
産業振興部長	栃 本 邦 憲	建設水道部長	保 沢 明
農 政 課 長	伊 澤 仁 一	商工観光課長	関 孝 夫
農業委員会事務局長	坂 田 一 也	建 設 課 長	倉 持 吉 男
都市計画課長	川 俣 貴 史	区画整理課長	古 橋 栄 一
水 道 課 長	神 戸 良 和	下 水 道 課 長	近 藤 善 美

事務局			
職	氏 名	職	氏 名
議会事務局長	五 月 女 治	議 事 課 長	篠 崎 正 代

○議員傍聴者 鈴木一司議員、村尾光子議員

○一般傍聴者 なし

再 開

[発言の申し出]

- 商工観光課長：空き店舗活用事業奨励金の実績件数について、昨年度 2 件と発言したが、正しくは令和 5 年度 2 件である。
- 建設課長：道路払下収入について、令和 4 年度は 7 件、令和 5 年度も手続き中含め 7 件。いずれも法定外公共物であり、令和 4 年度は赤道 5 件、水路道 2 件、令和 5 年度は赤道 6 件、水路道 1 件。これらを平均して算出している。

8 款 1 項 1 目 土木総務費

- 金子副委員長：地籍調査事業の委託料について、新年度のみの予算措置なのか。毎年の場合、いつまで継続するのか伺う。
- 建設課長：第 7 次国土調査事業十箇年計画における調査期間が令和 2 年から令和 11 年である。毎年、地籍調査を実施しており、筆数、面積により委託費が変わってくる。
- 金子副委員長：令和 11 年度まで委託料を計上していくという理解でよいか。
- 建設課長：年度ごとに金額は変わるが、計画のとおり令和 11 年度まで継続することになる。
- 石川浩委員：下野・小山間道路整備促進協議会のメンバー構成を伺う。
- 建設課長：会長が小山市長、副会長が下野市長、小山市議会議長、下野市議会議長、常任委員長、部長である。道路整備の促進を図るために、国に要望書を提出する等の活動をしている。

8 款 2 項 1 目 道路維持費

- 石田委員：箕輪橋を建設してまだ間もない。修繕費用を計上しているが何かあったのか。
- 建設課長：車道側は合併後に整備した。上流側にある歩道橋として使用している旧橋に関わる修繕であり、主に P C B（ポリ塩化ビニルフェン）の除去費用が大半を占める。橋の健全度は問題なく、国の P C B 処理が令和 8 年度で終了するため、それに合わせて施工するものである。
- 石田委員：塗装工事のみか。
- 建設課長：P C B の除去と併せて、橋面舗装の打換え、防水、ひび割れを補修する。
- 五戸委員：自動車購入費について、どのような車を購入するのか。
- 建設課長：転圧機等を運ぶ際に使用するゲートリフト付きの軽トラックである。

8 款 2 項 2 目 道路橋梁新設改良費

○石田委員：石橋駅周辺整備事業について、区画整理とは別なのか。土地購入費について説明願う。

●区画整理課長：石橋駅周辺の区画整理事業において、工場経営者の移転を進めている。移転後の土地を市有地として購入するための費用として計上している。

○石川浩委員：購入後は住宅地や公園になるのか。

●区画整理課長：他の地権者の仮換地との入れ替えを検討している。

○金子副委員長：昨日、市道 2－29 号線を現地調査した。街路灯が多い気がするがいかがか。

●建設課長：国庫補助事業であり、国分寺東小学校付近の道路ということで、道路照明施設設置基準に基づき設置している。明るさについては、平均路面照度が 5 ルクス以上、路面照度均斉度が 0.2 以上になるように設計している。

○金子副委員長：タイマーもなく朝まで照射されているのか。

●建設課長：時間設定により消灯している。暗くなった場合は、暗さに反応して自動点灯する。

○小谷野委員：市道 2－7 号線整備事業内の補償費について、内容を伺う。

●建設課長：地権者の構外移転に伴う費用である。

○石田委員：北側はどこまで考えているのか伺う。

●建設課長：現計画では、以前建っていた石蔵の農協倉庫までを予定している。その先は地元の要望により考えていく。南側については、都市再生整備計画により延伸を予定していたが協力が得られなかった経緯がある。時間をおいて整備に着手していきたい。

○石田委員：孝謙天皇神社まで抜ける道路を計画すべきと考えるがどうか。

●建設課長：以前に石橋病院南側道路を西に延伸する提案を受けたことがある。時代の状況により変化するため確定はしていないが、概略設計により、きらら館に抜ける道路案がいくつかある。時期が来たらこの概略設計を参考に計画していきたい。

8 款 3 項 1 目 河川総務費

○五戸委員：準用河川・サイクリングロード外除草について、年間の実施回数を伺う。

●建設課長：サイクリングロードは 3 回予定している。

8款4項1目 都市計画総務費

- 小谷野委員：都市核形成等事業化検討について、昨年度から減額される要因を伺う。
- 都市計画課長：まちづくり推進グループが創設され組織が充実した。また、昨年度に民間委託により勉強会を開催したなかで、専門家のノウハウを吸収した。勉強会について、今年度から自営により実施している。来年度についても、委託が必要な部分は委託しながら、極力自営による実施を検討している。

8款5項1目 住宅管理費

- 小谷野委員：元旦の能登半島地震を受け、古い木造住宅について積極的に耐震診断をお願いしたい。市としてどのような考えか伺う。
- 都市計画課長：ご指摘のとおり、県内でも木造住宅の耐震についてお問い合わせがある。公表されていないが、今月末に県内のいくつかの市町において相談会を予定している。本市についても、一定のニーズがあることを考慮し、相談会に参加する予定である。耐震については国庫補助事業になるが、割り当てがどのように増えるかにより、事業の実施範囲が決まってくる。情報収集し周知していきたい。
- 小谷野委員：大きい地震があると市民も心配している。周知を徹底し、なるべく多くの住宅が耐震診断を受けられるようにして欲しい。

○五戸委員：ブロック塀撤去費について、何件を見込んでいるのか伺う。

- 都市計画課長：20万円を5件見込んでいる。

- 石川浩委員：空き家バンクについて、一般質問において、単独のホームページを用意し充実できないか提案した。今回の予算には含まれているのか。
- 都市計画課長：ホームページについて、職員により見やすいページを作り既に公開している。空き家バンクについては、現在登録が1件もない状況である。過日、宅地建物取引業協会との意見交換会を開催し、本市では空き家バンクのニーズが非常に少ないとの話をいただいた。そのような状況においては、単独のホームページの着手には至っていないため、予算化していない。

[発言の申出]

- 都市計画課長：空き家バンクについて、昨年末に下野市の宅地建物取引業協会員向けに実施した意見交換において、本市の空き家は民間の不動産により概ね流通していると聞いている。

[総括質疑]

- 金子副委員長：市道2-29号線に交差する県道について、2年前から言っているが、市民にとっては生活道路として使用している道路である。特に小金井駅前周辺の整備状況が芳しくない。交通量の多い道路であるが、市としての見解を伺う。
- 建設課長：委員からのご指摘を受け、栃木土木事務所に何度か連絡している。先日、栃木土木事務所の保全部より、南端からエコスまでの両側歩道の舗装修繕工事を発注したと連絡を受けた。繰越工事になるため令和6年6月までに整備され、そこから先の「しもつけアンダー1」までの道路については、次年度予定していると聞いている。
- 金子副委員長：歩道側がバリアフリー化されるのか。車道はどうか伺う。
- 建設課長：バリアフリー化ではなく、歩道の荒れている箇所の補修を優先して実施するようである。車道については未定とのこと。意見については引き続き要望していきたい。
- 金子副委員長：樹木の伐採まで実施するということか。
- 建設課長：樹木の伐採までは実施しないと聞いている。
- 金子副委員長：自転車で通る際、樹木があると通行の妨げになるため伐採を検討していただきたい。
- 建設課長：該当の県道は比較的路肩の広い道路である。通常、自転車は車道路肩を通行するものであるが、意見として伝えていきたい。修繕について、抜本的に構造を変更する予定はないと聞いている。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第13号 令和6年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業 特別会計予算

《質疑・意見》

- 小谷野委員：令和5年度と比較し大きな予算減額となった。区画整理完了の見込みを伺う。
- 区画整理課長：現在の計画では、令和7年度までにハード面の整備が完了する。その後、換地処分に向けた事務があるため、計画の延伸等について栃木県と協議していく。
- 小谷野委員：合併前からの事業である。なるべく早く終わられるよう、引き続き努力をお願いします。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第14号 令和6年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算

《質疑・意見》

○小谷野委員：昨年度より減額となった要因を伺う。

●区画整理課長：大きな要因として、補償費が1億2千万円の減額である。今年度の補償物件の内容は、建物本体の移転やコンビニと言った特殊構造物であったため金額が大きくなった。一方で、令和6年度分の物件は本体工事が少なく工作物等がほとんどであるため減額となっている。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第15号 令和6年度下野市水道事業会計予算

《質疑・意見》

○石田委員：漏水箇所の点検調査の仕組みについて説明願う。

●水道課長：衛星を使った調査を実施し、漏水の可能性がある箇所について、半径100メートルの円にして209か所報告がある。予算の都合上、そのうちの85か所について、人による路面音聴調査による漏水の確認作業を行っている。3か所については、修繕まで完了している。来年度についても引き続き、報告箇所の修繕工事を実施する。また、3駅周辺の住宅地について、スクリーニング工法により漏水箇所を特定し、修繕工事を実施していく予定である。

○石田委員：宅地内の漏水検査について、業者は対応できるのか。

●水道課長：人による路面音調調査は本管のみならず、水道メーターまで実施している。宅地内の漏水についても、把握することが可能である。宅地内漏水に係る有料調査がいくつかある。人による音調調査、ガスを使用した調査など業者を案内することも可能である。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第16号 令和6年度下野市下水道事業会計予算

《質疑・意見》

[収益的支出]

1 款 1 項 2 目 雨水管路費

- 小谷野委員：昨年度比で減額されているが、産業団地や区画整理事業がある程度終了したことによるものか。
- 下水道課長：ストックマネジメント管路施設点検調査業務について、場所や距離が短くなったことにより委託料が減額されたためである。

[その他]

- 石川浩委員：近隣自治体において、下水道料金が17%上昇すると聞いている。下野市も同様か。
- 下水道課長：下水道事業は公営企業会計ですが、一般会計から補助金等の繰入金を受けており、独立採算制が成り立っていない状況である。このため、下水道料金については、一般会計の財政負担を軽減するためにも、上下水道料金審議会を開催し、そのなかで検討していきたい考えである。
- 建設水道部長：近隣自治体において下水道料金が上がっている話があるが、本市としても検討しなければいけない問題である。料金の改定については、委託料に含まれる料金改定支援業務において、令和6年度に検討していく予定である。
- 金子副委員長：令和6年度に検討の場を設けるという話だが、令和7年度には考えていかなければならないという認識でよいか。
- 建設水道部長：企業会計は、本来ならば独立採算制を取らなければならないが、一般会計からの繰入金により賄われている。その点を改善していくとなると、料金の改定が必要になってくる。令和6年度、支援業務において料金をシミュレーションすることになり、料金の改定については審議会により検討していくことになる。
- 金子副委員長：改定はいつになるのか。
- 建設水道部長：時期については未定である。
- 石田委員：本管の内面補修は実施しているのか。また、不明水の量は増えているのか伺う。
- 下水道課長：下水道施設の修繕改築計画を今年度作成している。計画に基づき、令和6年度に修繕等を実施していく予定である。不明水量について、令和4年度は149万2,722立方メートル、令和3年度は172万3,052立方メートルであり、減少している。
- 石田委員：不明水について、これ以上減らすことは簡単なことではないが、引き続き調査や管路の清掃等を実施してほしい。令和6年度から実施するということか。
- 下水道課長：令和6年度から実施していく。

○石田委員：消防署西側の調整池について、工業廃水が流れていたことにより近隣住民からの苦情があり調査を実施した。調整池の中を掘った形跡があったが理由を把握しているか。

●下水道課長：下水道課において、場所の確保や土周りのよごれを掻きあげるために掘り下げた。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第22号 道の駅しもつけ設置及び管理に関する条例の一部改正について

《質疑・意見》

なし

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第23号 下野市道路占用料徴収条例の一部改正について

《質疑・意見》

○小谷野委員：今回の改正により収入の増減見込みを伺う。

●建設課長：試算した結果、約100万円増加の見込みである。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第24号 下野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

《質疑・意見》

なし

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第25号 下野市水道事業給水条例の一部改正について

《質疑・意見》

なし

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

議案第27号 市道路線の認定について

《質疑・意見》

- 小谷野委員：民間が開発した道路かと思うが、完成箇所のみの確認か、工事の途中経過は確認したのか伺う。
- 建設課長：開発に絡む道路である。開発の際に図面等により構造を確認し工事に着手している。また、工事中の写真や竣工図の提出を求め検査している。
- 小谷野委員：住宅を建てている最中かと思うが、大きい車が入り道路が変形した場合、いま認定してしまうと市が工事費を負担するのか、業者負担なのか。
- 建設課長：明らかにレッカー車等に落ち度がある場合は修繕してもらっている。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

[要望すべき事項]

- 小谷野委員：下野ブランドについて、品目が減ってきている。今後、ふるさと納税の返礼品を考えたときに、魅力あるものとして認定されるよう、限られた予算のなかで力をいれていただきたい。
- 石川浩委員：都市計画法第34条第11号の規定に基づく区域指定について、住宅地の工事が進み、成果を感じる。令和3年度、令和5年度に区域指定されているが、是非とも令和7年度の検討もお願いしたい。

5. その他

- 農業委員会事務局長：農業委員の改選について報告する。
現行の委員は本年9月3日をもって任期満了になる。次期農業委員選出のた

め、昨年10月31日、11月8日に募集説明会を開催し、11月15日から募集を開始した。定員16名に対し19名の応募があった。委員の選考については、産業振興部長、総務部長、農政課長、農業委員会事務局長、農業公社事務局長による候補者選考委員会における選考を経て、9月議会に人事同意案件として上程予定である。

- 産業振興部長：選考にあたっては、①認定農業者・②女性・③中立が重要な要素になる。まず、農業委員の過半数は認定農業者でなければならない、と法的に位置づけされている。女性について、昨今の男女共同参画を考え積極的に女性を登用するよう国・県から要望されている。委員は中立な方でなければならない。これらを踏まえたうえで審査していきたい。
- 建設課長：下野スマートインターチェンジ事業の進捗状況について資料に基づき説明。

閉 会